

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) タキロンシーアイ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 530-0001 大阪市北区梅田3-1-3	
本票作成	部署名：岡山工場 工務グループ				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
事業の概要	シュリンクフィルム（熱収縮フィルム）の製造 従業員：84人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県新見市上市20-10	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和2)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	9,245 t CO ₂	8,912 t CO ₂	11,635 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和2)年度排出量
	①	岡山工場	8,912 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和6年度	(5箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 7.3 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量(令和2年度実績：8,804 t) 基準年度：9,814 t 目標年度想定：13,000 t	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		0.942 t CO ₂ /(t)	1.011 t CO ₂ /(t)	0.895 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和2年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

令和2年度の実績として排出量は大きく減少したが、原単位基準では悪化という結果となった。要因は以下のことが考えられる
 ①市場動向の変化に伴い、生産量が前年度と比べて大きく減少した。
 ②生産量の減少に伴い、エネルギー使用量も減少したがベース電力等の比率が高まった。
 ③前年と比べCO₂排出係数が上昇した。(0.000491 ⇒ 0.000514)
 上記①、②、③の結果エネルギー原単位が悪化し同様にCO₂排出原単位も悪化した。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を集計、確認している
- ・1回/月で開催する社内会議にてCO2削減に向けた取り組みの進捗確認をしている

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(2年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯のLED化 ・エア漏れ、蒸気漏れの点検、修理 ・省エネ安全パトロールの実施 ・設備故障低減による原単位改善 (今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・電力契約会社の変更 ・空調設備の更新 ・蛍光灯のLED化 ・生産ライン歩留向上 ・省エネ安全パトロールの実施 ・設備故障低減による原単位改善

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--